

2016年4月27日

Apple社製 QuickTime for Windows の脆弱性およびその対応について

お客様各位

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

日本時間 2016年4月15日に、米国のセキュリティ機関「US-CERT」より、「QuickTime for Windows」の脆弱性について注意喚起があり、回避策として QuickTime のアンインストールをすることが案内されています。また、国内の関係機関からも同様の注意喚起がなされています。

■JVN (Japan Vulnerability Notes) 脆弱性対策情報ポータルサイト

「QuickTime for Windows に複数のヒープバッファオーバーフローの脆弱性」

<http://jvn.jp/ta/JVNTA92371676/>

Apple社製 QuickTime に見つかっている脆弱性とは、QuickTime がインストールされている PC で不正な Web サイトを閲覧する、または不正なファイルを開いた場合に攻撃者が任意のコードを実行できるというものです。

当社製 OTRS Ver5.0～OTRS Ver8.3 は、QuickTime を動作環境の前提としており、QuickTime をアンインストールすると、OTRS Ver5.0～OTRS Ver8.3 は、動作しなくなります。

QuickTime をアンインストールする場合は、別紙のとおり設定を行なうことで OTRS Ver5.0～OTRS Ver8.3 を使用することができるようになります。

(アンインストール後、OTRS の一部機能に利用制限および使用できる動画ファイルの変更が発生します。)

<QuickTime for Windows のアンインストール方法>

■Apple 「QuickTime7 for Windows をアンインストールする」

<https://support.apple.com/ja-jp/HT205771>

<OTRS 使用環境の設定について>

別紙「QuickTime for Windows 削除後の OTRS 使用環境の設定について」をご参照ください。

<対象商品>

OTRS Ver5.0～OTRS Ver8.3

<利用制限のある機能>

動画生成 (Super Editor) オプション

<QuickTime for Windows 削除後に OTRS で使用できる動画ファイル>

MPEG-1、MPEG-2

※MOV、MP4、AVI のファイルは MPEG-1 か MPEG-2 に変換することで使用できます。

<注意点>

- ・ OTRS5.0～OTRS8.3 を利用するだけでは、本脆弱性の影響を受けることはありません。
 - ・ QuickTime をアンインストールすると MOV/MP4/AVI の動画ファイルが再生できなくなるため、動画変換ソフトで MPEG-1 または MPEG-2 のフォーマットに変換し OTRS に取り込むことで OTRS をお使いいただくことができるようになります。
 - ・ 動画変換ソフトにつきましては、各種製品がございます。当社では動画形式を変換して OTRS が動作することを数種類の変換ソフトで確認しております。ただし、他社製品であり当社が推奨製品をお答えすることはできません。
 - ・ QuickTime のアンインストールは、お客様のご判断で実施して下さい。
 - ・ ブロードリーフ製以外の製品に関する情報や、ブロードリーフが管理または検証していない個々の Web サイトは、推奨や承認なしで提供されています。ブロードリーフは他社の Web サイトや製品の選定、性能、使用については一切責任を負いません。ブロードリーフは他社の Web サイトの正確性や信頼性については一切明言いたしません。
- 詳しくは各社にお問い合わせください。その他の会社名や製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

■お問合せ先

株式会社ブロードリーフ 専用コールセンター

電話番号：03-5781-3316

対応時間：9:00～17:30(土、日、祝日及び弊社休業日は除く)